



2024年11月6日

各位

会社名 ナカバヤシ株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 湯本 秀昭  
(コード：7987 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役上席執行役員管理統括本部長 長井 俊介  
(TEL 06-6943-5555)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2024年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値の修正(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	28,500	260	530	220	8.02
今回修正予想(B)	29,147	448	585	356	12.97
増減額(B-A)	647	188	55	136	-
増減率(%)	2.3	72.3	10.5	61.8	-

#### 修正の理由

第2四半期(中間期)については、販売価格の見直しに加え、製造原価の低減や不採算事業の見直しを進めた結果、ビジネスプロセスソリューション事業では重箱や紙製パッケージなどの紙器包材関連が順調に推移し、図書館ソリューション業務においても公共図書館からの新規案件が寄与しました。また、コンシューマーコミュニケーション事業においては、紙製品や環境対応商品の売上が貢献したほか、連結子会社である(株)ミヨシ、リーベックス(株)、リーマン(株)の吸収合併によるシナジー効果がありました。さらに、ツーリズム施策「めぐりing ビジネス」がインバウンドや旅行支援施策によって旅行者数の増加やコト消費・トキ消費への関心の高まりと相乗効果をもたらしました。また、オフィスへの出社回帰が継続していることから、オフィス家具のEC事業も堅調に推移しました。

これらの結果、売上高については目標を647百万円上回りました。営業利益も目標を188百万円上回る成果を上げ、さらに親会社株主に帰属する中間純利益に関しては、営業利益と経常利益が目標を上回ったことに加え、法人税等の負担が予想を下回ったことも影響し、目標を136百万円上回る見込みです。

また、2025年3月期通期連結業績予想につきましては、下期動向を精査中であるため、2024年5月10日の公表値を据え置いております。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 配当予想について

2025年3月期の配当予想につきましては、現時点で中間・期末ともに2024年5月10日公表の内容から修正はございません。今後、配当予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

この業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

以上